

【創立100周年記念日にあたって一言】

校長 寺本 圭一

- ・本日、5月12日は、東高校の創立記念日です。特に、今年は、創立100周年の特別な記念日となります。
- ・本校は、1923（大正12）年に現在の中央区船場に「大阪市立東区女学校」として開校し、戦後、1948（昭和23）年に「東高等学校」と改称されました。その後、1978（昭和53）年に現在の地（大阪大学工学部跡地）へ移転し、平成3年に「理数科」、平成6年に「英語科」が設置され、現在に至っています。詳しくは、学校HPの沿革をご覧ください。
- ・さて、本校が、今年100周を迎えたことは本当に凄いことで、喜ばしいことです。私は縁あって、すでに閉校となった此花総合高校と咲くやこの花高校、そして桜和高校と、3つの高校の開設に関わりました。新しい学校をつくるというのは、大変ですが、夢のある仕事です。開校する前には、中学生が求めるのはどんな高校だろうかといろいろ想像し、議論しました。一方で、いざ開校しても、中学生が受験してくれるだろうか、将来的に社会に認められる高校になるだろうかという不安もありました。
- ・そんな思いの中、様々な方の協力、苦労があって、一つの学校が完成します。幸い、咲くやこの花高校は無事に今年16年目を迎え、開校2年めの桜和高校は昨年よりたくさんの中学生在が受験してくれました。自分が関わった学校が元気であることは本当に嬉しいことです。
- ・せっかくの創立記念日に他の高校のことを話してごめんなさい。東高校をつくった方々の心情にも思いを馳せてほしいという気持ちからです。それと、100周年って凄いいうことも。
- ・我が東高校には、それらの新しい学校にはない100年の歴史と伝統の積み重ねがあります。100年前に東高校をつくった方々が今の東高校の様子や元気なみんなの姿をご覧になったら、きっと「感無量」だと思うのです。まして、本校は、戦争を乗り越え、戦後の経済成長と情報化、グローバル化など、大正、昭和、平成、令和と4つの時代に対応してきたのです。
- ・それは何より、その時代の生徒たち、教職員の皆さんの一生懸命な取組が100年後の「今」を作ってくれたと思っています。だから、みんなにも「今」を一生懸命生きてほしいと思います。校訓「高志・卓行」をぜひ実践して行ってほしいと思います。その一つ一つが歴史をつくります。
- ・東高校の、これまでの100年を超える100年をみんなで作っていきましょう！